

15

noteの有料記事設定
価格設定のポイントと注意点

有料記事の設定が収益化の鍵

noteで有料記事を販売することは、ブログ収益化の重要な一歩です。今回は、読者の興味を引き、有料記事へとスムーズに誘導する無料記事の書き方について解説しました。

今回は、その次のステップとして「有料記事の実際の設定方法」について詳しく解説していきます。操作はシンプルなので、初心者の方でも安心してください。

これらを押さえることで、スムーズに有料記事を公開し、収益化を目指すことができます。それでは、さっそく設定方法を見ていきましょう。

noteで記事を作成して有料記事に設定する方法

まず、有料で販売する用の記事を作成します。基本的な記事の作成手順は、『07 | noteで記事を書いてみよう！』で紹介しているのでそちらを参照してください。

有料記事を作成する場合は、無料部分で読者が続きを読みたくるように工夫することが大切です。

記事のテーマや結論に軽く触れ、「この方法で〇〇が解決できます」といったメッセージを示しましょう。前回の記事を参考に、有料記事を作ってみてください。

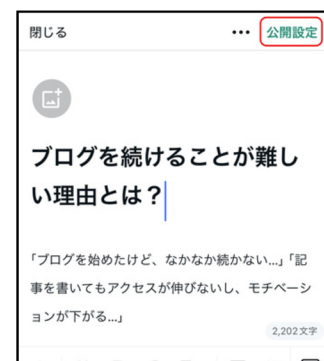
本文を書き終えたら、「公開設定」を開き、以下の手順で有料記事として設定します。

note有料記事の設定方法

STEP : 01

記事を書いたら公開設定に進む

有料で販売する用の記事を作成したら、公開設定に進みます。



STEP : 02

ハッシュタグをつける

ハッシュタグをつけます。

ここまでは無料記事と同じ手順です。



STEP : 03

販売設定の有料をONにする

ハッシュタグの下の欄に、「販売設定」があります。

有料と書いてる右のボタンをオンにします。



STEP : 04

本人情報の登録画面に入力する

はじめて有料販売をする場合は、「本人情報の登録」というポップアップが表示されるので、個人or法人を選び、名前と住所を入力して、緑色の「登録」ボタンをタップします。



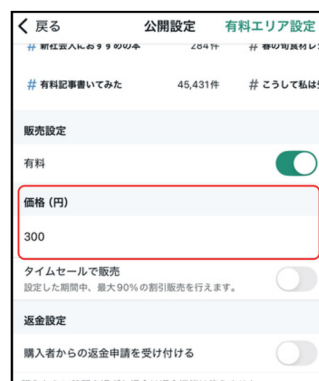
「個人」か「法人」は、「個人」で問題ありません。もし、すでに法人を持っていて、その会社で売上を計上したい場合は「法人」を選んでOKです。

STEP : 05

販売価格を決める

記事の金額を決めます。

金額は100円から50,000円まで自由に設定ができます。



販売価格の設定の後「返金設定」を行います。
返金設定は、ご自身で選択することができるので、
もし、読者に安心して購入してもらいたいと思う場
合は、返金を受け付ける設定にしておくといいでし
ょう。



「返金設定」とは、購読後に返金を希望する際に受け付けるかどうかを決定する機能です。返金には、noteの審査があります。
あとのセクションで詳しく解説します！

STEP : 06

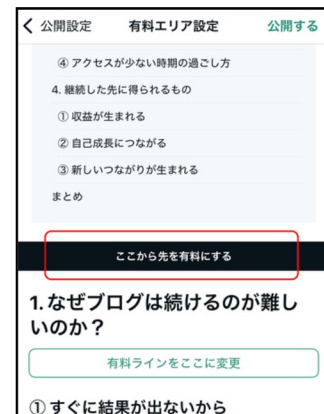
有料エリア設定をする

公開設定での入力が済んだら、右上の「有料エリア設定」をタップします。



作成した記事ページに戻り、段落ごとに「有料ラインをここに変更」という緑線の枠が表示されています。

有料部分に設定したい部分の上にある「有料ラインをここに変更」をタップすると、「ここから先を有料にする」という黒背景の文字に変わります。



STEP : 07

公開する

有料部分が決まったら、右上の「公開する」をタップします。



有料記事の価格設定のポイント

初めて有料記事を販売する際、価格設定に悩むのは当然です。自分が時間をかけて書いた記事だからこそ、過小評価せずに適切な価格をつけたいものです。しかし、高すぎる価格では読者が購入をためらい、結果として売れない可能性もあります。

このバランスを見極めるために、自分の感覚だけに頼らず、他のクリエイターの価格設定を参考にすると良いでしょう。同じジャンルや似たテーマの記事がどれくらいの価格で販売されているのかをチェックし、相場を把握することが大切です。

特に、noteでは「スキ」や「高評価」の多い記事を参考にすると、どの程度の価格設定が適正なのかが見えてきます。他の人気記事の価格を確認しつつ、自分の記事の情報量や独自性を加味して適切な価格を設定しましょう。

また以下3つのポイントも参考にしてみてください。

1. 記事の内容の深さ

- 他のクリエイターが提供していない情報や視点があるか？
- 独自のノウハウや専門的な情報を含んでいるか？
- 深掘りした内容であれば、少し高めの価格でも納得されやすい。

2. 記事の充実度

- 長文だから高価格にするのではなく、情報量と価値のバランスを考慮。
- 具体的なノウハウや実践的なアドバイスが含まれているか？

3. 読者層の特性

- 専門知識を求める読者向けなら高めの価格でもOK。
- 初心者向けの記事は、手軽に購入できる価格設定が望ましい。



有料記事の返金設定と注意点

記事の価格が決まったら、次に考えておくべきなのが「返金設定」です。noteでは、読者が誤って購入した場合や記事の内容が期待と異なった場合、24時間以内であれば返金申請が可能です。

この設定をオンにすると、購入時の不安を軽減できる一方で、読者が記事の内容を取得した後に返金申請をするリスクもあります。特に専門的なデータや資料を含む記事では、慎重に判断する必要があります。

ただし、悪質な返金申請についてはnoteの運営が対応するため、必要以上に心配する必要はありません。重要なのは、そもそも読者が返金を希望しないような記事を作成することです。有料記事を執筆する際は、価格に見合った価値のある内容にすることを意識しましょう。無料記事の段階から情報の正確性を保ち、期待を裏切らない構成にすることで、信頼を築くことができます。結果として、返金リスクを最小限に抑え、安心して記事を購入してもらえる環境が整います。

有料記事の価格変更・削除時の注意点

有料記事を公開した後も、内容の改善や価格の調整が必要になることがあります。その際、読者との信頼を守るために、適切な対応を行いましょう。

1. 価格を変更する場合

- 価格を下げる場合は特に告知不要。
- 価格を上げる場合は、事前に「〇月〇日から値上げします」と案内。
- 値上げ後も、すでに購入済みの読者には影響がないことを明示。

2. 記事の充実度

- 事前に「〇月〇日に削除予定」と告知。
- 削除の理由を説明し、読者に混乱を与えないようにする。
- 可能であれば、削除記事の代替情報を提供する。

有料記事の販売では、読者との信頼関係を築くことが最も重要です。透明性を持った対応を心がけ、安心して購読してもらえる環境を作りましょう。

まとめ | 価値ある記事を提供し、収益化を目指そう

有料記事を成功させるには、無料部分と有料部分の分け方や流れを工夫することが重要です。読者の興味を引きつけ、自然に有料部分へ誘導することで、価値を感じてもらいやすくなります。

また、有料記事として販売する以上、読者の期待に応える責任があります。記事の質や正確性を高め、満足度の高いコンテンツを提供することを常に意識しましょう。

読者に安心して購入してもらえる記事を作成し、noteでの収益化に向けて一歩を踏み出してみてください。今回の内容を参考に、ぜひ有料記事の公開に挑戦してみましょう！